

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日  
令和6年7月17日（水）
- 2 確認箇所  
瓦礫類一時保管エリアA1、A2（図1）
- 3 確認項目  
瓦礫類一時保管エリアA1、A2の状況

### 4 確認結果の概要

瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）A1及びA2は、過去に高線量の瓦礫類（表面線量率30mSv/h以下）を保管していたが、一時保管エリアA1は、令和3年に低線量の瓦礫類（表面線量率0.01mSv/h程度）の一時保管エリアに転用されている。一時保管エリアA2についても、低線量の瓦礫類（表面線量率0.005mSv/h程度）の保管に転用することが予定されており、前回確認時は、コンクリート擁壁の設置と地表面の舗装工事が実施されていた。（前回確認：[令和6年4月22日](#)）

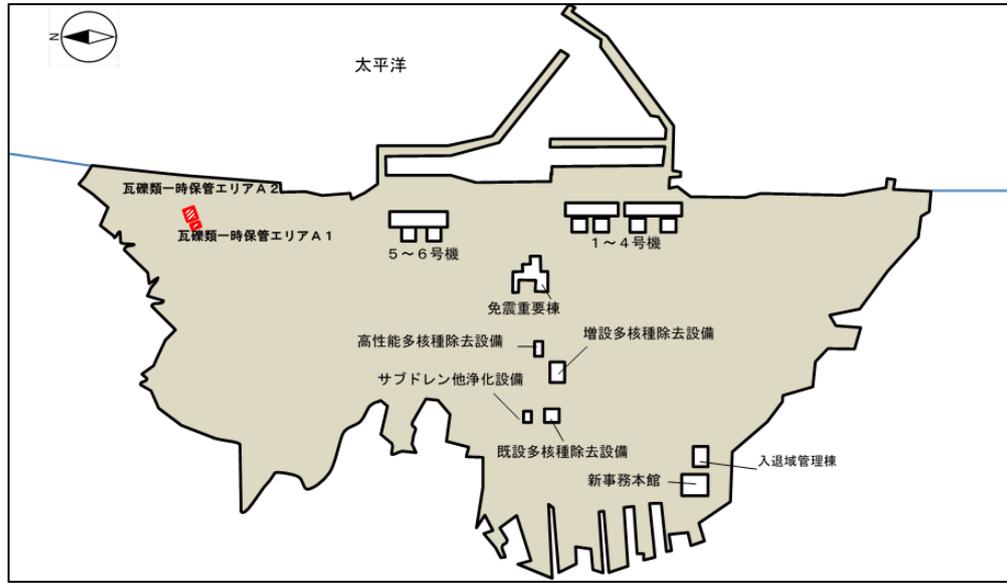
今回は、前回に引き続き、一時保管エリアA1における瓦礫類の保管状況及び一時保管エリアA2における転用に向けた工事状況を確認した。

#### （1）一時保管エリアA1の状況

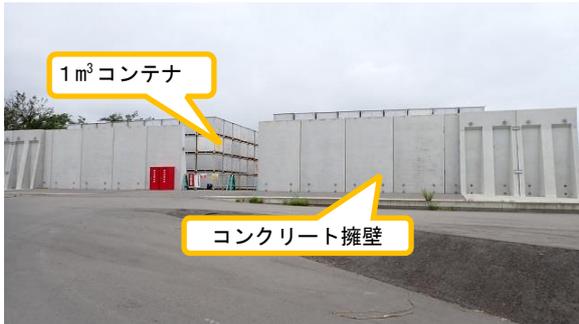
- ・一時保管エリアの周囲を囲む様にコンクリート擁壁が設置されており、その内側には1m<sup>3</sup>コンテナが4段積みで保管されていた。（写真1）
- ・確認した範囲では、コンテナに転倒や傾きは確認されなかった。また、内容物の飛散や流出も確認されなかった。（写真2）

#### （2）一時保管エリアA2の状況

- ・一時保管エリアの周囲を囲むコンクリート擁壁の設置と、地表面の舗装工事が完了していた。（写真3）
- ・一時保管エリアA2内に廃棄物は保管されていなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)  
一時保管エリアA1の状況



(写真2-1)  
一時保管エリアA1におけるコンテナ保管の状況①



(写真 2—2)  
一時保管エリア A 1 におけるコンテナ  
保管の状況②



(写真 3—1)  
一時保管エリア A 2 の状況①



(写真 3—2)  
一時保管エリア A 2 の状況②  
※擁壁の内側を撮影

- 5 プラント関連パラメータ等確認  
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。